

脈々 高蔵^{スピリッツ}魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「^{てんびん}天稟に 応じ 天職 を 楽しむ」

天稟とは「生まれつきの才能・性質」、
天職とは「天性に合った職業」と聞けば、
人はすぐに迷い出す、「私の天稟とは、私
の天職とは」と。

脳ばかりを肥大させ、身体を置き去り
にしているのは、いかなる智慧も身につく
筈はない。人格と人格が相触れ、火花が
散るところに真の教育、道が開かれる。

全身全霊を賭けて自らの道を求めよ。

桜は桜たるに甘んじ、松は松たるに安んず。
真知真勇自ら此の中に在り。正名正利自ら此
の間に存す。 (「藪椿」3-4)